

尿検査 検査項目解説②

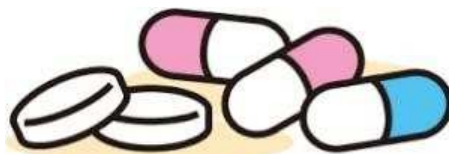
【尿沈渣(にょうちんさ)】

尿に含まれる細胞や細菌などを、顕微鏡で観察する検査です。どんな成分が、どれくらい認められるかによって、腎臓・尿路の病気を鑑別します。

- RBC（赤血球）：腎臓・尿路に出血があると増加します
- WBC（白血球）：腎臓・尿路に炎症があると増加します
- 上皮（3種類）：種類によって腎臓・尿路のどこにトラブルが起きているか推定します
- 円柱：腎臓の中の尿の通り道が詰まってしまったときに出現します
- 細菌：感染症があるときに出現します

知っ得！ポイント

尿検査と「ビタミン剤」



ビタミン剤や栄養ドリンクを飲んだあのおしっこは、いつもより色が濃くなったり、独特な匂いになる事があります。

これは、ビタミンの中でも「ビタミンB2」が影響しています。

そのほかに「ビタミンC」は尿潜血の検査に影響を与えるといわれています。健診の前は、ビタミン剤の服用を控えて頂くのがよいかもしれませんね・・・